

令和5年度 吉岡町社会福祉協議会 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I. 社会福祉事業 i. 地域福祉事業拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

1.) 会員加入状況

年 度	世帯数	一般会員 世帯数	一般会員 納入金額	納入割合
令和 3年度	8,327	6,166	6,166,000円	74.0%
令和 4年度	8,547	6,347	6,347,000円	74.3%
令和 5年度	8,727	6,205	6,205,000円	71.1%

年 度	賛助会員数	賛助会費	特別会員	特別会費	団体会員	団体会費
令和 3年度	35人	180,000円	23法人	120,000円	2団体	60,000円
令和 4年度	33人	175,000円	26法人	135,000円	2団体	60,000円
令和 5年度	33人	175,000円	22法人	115,000円	2団体	60,000円

2.) 役員会・評議員会開催状況

役員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
令和 5. 5. 30	12	12	承認第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(決算月)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて
			承認第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて
			議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について
			議案第2号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について
			議案第3号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
			議案第4号 吉岡町社会福祉協議会苦情対策要綱の一部改正について
5. 6. 16	11	12	議案第5号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
			議案第6号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
5. 9. 15	10	12	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選任について
			承認第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて
5. 12. 8	11	12	議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について
			議案第2号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
			議案第1号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について
			議案第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について
			議案第3号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について

6. 2. 27	12	12	議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第5号)について 議案第2号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
6. 3. 26	10	12	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会介護予防支援事業所運営規程の一部改正について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会指定訪問介護支援事業運営規程の一部改正について 議案第5号 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく吉岡町社会福祉協議会(居宅介護及び重度訪問介護)運営規程の一部改正について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会指定第1号訪問事業(訪問型サービス)運営規程の制定について 議案第7号 吉岡町社会福祉協議会指定介護予防訪問介護事業運営規程の廃止について 議案第8号 吉岡町社会福祉協議会虐待防止に関する指針の制定について 議案第9号 吉岡町社会福祉協議会感染症の予防及びまん延の防止のための指針の制定について 議案第10号 吉岡町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 議案第11号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第12号 吉岡町社会福祉協議会苦情対応第三者委員の選任について

評議員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
令和 5. 6. 16	17	20	承認第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(決算月)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 承認第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会役員改選について
5. 9. 21	19	20	承認第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について
5. 12. 15	19	20	議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について
6. 3. 21	20	20	議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第5号)について 議案第2号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について

2. 地域福祉事業サービス区分

1.) 地域担当制『地域つなげる!!つながる!!社協マン』

(1) 事業概要

町内13自治会に、地区担当としてそれぞれ職員を2～3人ずつ振り分け、担当地域の状況を把握し、身近な相談役として、第2期吉岡町地域福祉計画・第2期吉岡町地域福祉活動計画に基づき、「社協の見える化」「地域課題の発掘」「支え合い・助け合いの仕組みづくり」による地域福祉の推進を地域住民とともに図った。

(2) 事業結果

- ・自治会会議への出席 5件
- ・自治会行事への出席 1件
- ・民生委員との連携 0件
- ・サロン、筋トレへの参加 4件
- ・出張社協 3件
- ・その他 4件

【感想・反省・目標】

令和5年度ではコロナウィルスの位置づけが引き下げとなり、一部の自治会では活動始めた地区はあるが、コロナ以前ほど活発になっていない。

令和6年度は、今まで以上に自治会の集会やサロン・イベント会場に社協から声をかけ、訪問し、気軽に相談できる雰囲気をつくると共に今の声に耳を傾け積極的に相談活動を行いたい。

2.) 福祉ネットワーク推進事業

(1) 事業概要

超高齢社会、核家族が進む中、高齢者及び障がい者等援護を必要とする者への地域ぐるみの援護システム作りを目的とし、各自治会単位で交流事業や見守り活動を実施した。

(2) 事業結果

①助成金

吉岡町13自治会に対し令和5年度活動助成金支出

	3年度	4年度	5年度
会費収入	1,402,360円	879,228円	642,390円
町補助金収入	520,000円	520,000円	520,000円
共同募金配分金収入		520,000円	520,000円
事業費	1,922,360円	1,919,228円	1,162,390円

②福祉ネットワーク事業の再説明及び見守り体制づくり援助

- 実施日 令和5年5月13日(土) 南下福祉ネットワーク役員会
- 令和5年7月16日(日) 小倉自治会見守り活動
- 令和5年7月23日(日) 漆原西福祉ネットワーク新旧役員会
- 令和5年9月2日(土) 南下福祉ネットワーク会議
- 令和5年9月23日(土) 寺上見守り活動

内容：見守り活動へ共に参加し、再度、見守り活動の重要性を伝えた。

③コロナ感染対策物品購入支援

コロナウィルスの位置づけが、令和5年5月に2類から5類へ引き下げをされたことにより、制限はあるものの、高齢者慰安会を再開した地区もあるが、いまだに高齢者慰安会や世代間交流等の集いの場を再開自粛の地区も多くある。そのため、見守りを目的としたコロナ対策用品の配布を認め、一部物品手配の支援を行った。配布して終わりではなく、地域における日々の見守り活動に活かしていただけるよう依頼する。

④要援護者支え合いマップ作成『よしおか支え愛マップづくり』

地域福祉ネットワーク事業を土台に地域の状況を共有・確認し、支え合いの体制を見える化する。

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及び障がい児者等を平常時はもちろんのこと、災害時においても、地域住民・地域支援者（自治会長、副自治会長、民生-児童委員、消防団員、自主防災組織等）が見守りや安否確認、避難支援を行うため事前にマップを作成し、地域に住むひとりひとりが自分事として主体的に支え合い、お互いに助け合うことができるような地域のつながり強化、地域力の向上を目的に1回目として小倉自治会協力のもと町（協働安全室、福祉室）と共に実施した。

『小倉自治会住民支え合いマップづくり』

- ・実施日 令和6年2月18日(日) 10:00~12:00
- ・会場 小倉集会所
- ・参加人数 25人（自治会役員、民生委員、消防団 等）
- ・内容 講話『見守りネットワーク事業 ~住民支え合いマップづくり~ -しんとうstyle -』
講師：棟東村社会福祉協議会 局長 小野関芳美 様
講話終了後、4班（上小倉、下小倉上、下小倉中、下小倉下）に分かれてマップづくりを実施。

【感想・反省・目標】

活発に情報共有がされ、顔の見える関係づくりの一助を担えた。その中で普段からの付き合いや地域資源（専門職や地域の見守り協力者）との結びつけ等、日頃意識されていないことが明らかになった。マップづくりを機に参加者が対象者を普段から気にかけて暮らすきっかけとなったら嬉しい。そして事業継続により多くの人に関わっていき、マップが更新され、普段からいざという時まで一貫してみんなで助け合える地域を目指していきたい。また、今後他の自治会でも実施できるよう重要性を示していきたい。

3.) 社会を明るくする大会

(1) 事業概要

社会を明るくする運動の一環として、青少年問題の現状と課題を明らかにして、青少年健全育成の推進に、町更生保護女性会及び保護司会と協力して実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日 伝達式：令和5年7月3日、のぼり旗設置：6月30日
- ・会場 役場及び町内
- ・内容 ア、町長へ法務省提唱のメッセージ伝達
イ、のぼり旗の設置による啓発活動

	3年度	4年度	5年度
会費収入	42,489円	8,408円	8,826円
事業費	42,489円	8,408円	8,826円

4.) 障がい児・者交流事業

(1) 事業概要

町内在住、在勤の身体・知的・精神障がい児・者とその家族を対象に、交流を図り、仲間づくりの場となることを目的に老人福祉センターを開放した事業等を実施した。

(2) 事業結果

○ポッチャ体験教室

- ・実施日 令和5年11月11日(土)
- ・参加者 29人 他（付添者3人、協力者4人）

	3年度	4年度	5年度
会費収入	0円	17,353円	29,041円
事業費	0円	17,353円	29,041円

5.) シルバーカー購入費補助金交付事業

(1) 事業概要

高齢者の歩行の補助としてシルバーカーを購入した場合、購入費の一部を補助し、費用負担の軽減と日常生活の利便を図ることを目的に実施した。

(2) 事業結果

- ・交付決定者 7人（4年度：2人、3年度：9人）

	3年度	4年度	5年度
会費収入	45,000円	10,000円	35,000円
事業費	45,000円	10,000円	35,000円

6.) 高齢者交通安全活動推進事業

(1) 事業概要

高齢者の交通事故防止や手口が日々変化している振り込め詐欺、悪質商法被害等から高齢者を守り、安全安心な毎日を過ごしていただくことを目的として講話を実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和5年11月6日(月)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 38人(4年度:43人、3年度:43人)
- ・内容 吉岡交番所長様による防犯、交通安全講話。アトラクションとしてターフェルムジーク音楽教育の方々による楽器演奏。

	3年度	4年度	5年度
会費収入	9,500円	4,886円	9,050円
事業費	9,500円	4,886円	9,050円

7.) 老人福祉センター開放事業

(1) 事業概要

老人福祉センターを開放し、この施設や社協の業務内容のPRを図りながら、地域住民が気軽に参加できる事業を行うことにより、コミュニケーションが図られ、より良い吉岡町を創造して行くことを目的に実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日
 - 7月26日・27日(小学生向け習字教室) 参加人数10人(26日:4人、27日:6人)
 - 7月28日AM/PM(小学生向けポスター教室) 参加人数14人(AM:10人、PM:4人)
 - 12月16日(一般向け季節の寄せ植え体験教室) 参加人数11人

	3年度	4年度	5年度
負担金	0円	0円	27,500円
会費収入	10,000円	20,800円	31,595円
事業費	10,000円	20,800円	59,095円

8.) 社協×SDGs SDGsでエコ生活 ～『もったいない』を『ありがとう』に～

(1) 事業概要

隔年で行っていた福祉バザーを見直し、コロナ禍も考慮した形に変えて、よしおかふるさと祭りと同日に開催。食品ロスやごみを削減して、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するため、各家庭で眠っている食品や日用品等のリユースを展開した。また、社会福祉協議会、地域包括支援センター、老人福祉センター、ボランティアセンターのPRの場とし、併せて福祉団体の紹介を行った。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和5年10月8日(日)
 - ・会場 吉岡町老人福祉センター
 - ・来場者数 818人
 - ・SDGs寄付協力者 93人
 - ・SDGsお渡し世帯数 195世帯
- その他、子育て支援団体(こども食堂)へ寄贈
- | | 4年度 | 5年度 |
|------|---------|---------|
| 会費収入 | 23,757円 | 33,636円 |
| 事業費 | 23,757円 | 33,636円 |

9.) 制服等リユース事業

(1) 事業概要

卒業や成長で不要になった制服、体操着、体育館シューズ等を住民から回収し、それらを必要とする住民に配布することで、子育て家庭への経済的負担の軽減と資源の有効活用を図った。

(2) 事業結果

- ・リユース品回収期限 令和5年11月8日(水)
 - ・リユース品お渡し期間 令和5年12月1日(金)～8日(金)
 - ・会場 吉岡町老人福祉センター
 - ・寄付協力者 27名
 - ・お渡し世帯数 47世帯
- | | 4年度 | 5年度 |
|------|--------|-----|
| 会費収入 | 4,940円 | 0円 |
| 事業費 | 4,940円 | 0円 |

10.) 職員出前講座

(1) 事業概要

地域のふれあい・いきいきサロン会場や介護予防事業会場において、福祉や介護予防について理解を深め地域住民の生活に役立ててもらうことを目的に、職員の持っている知識や特技を生かした講座を行った。

(2) 事業結果

- ・実施会場 10会場 (4年度：17会場、3年度：8会場)
- ・参加延人数 150人 (4年度：254人、3年度：116人)

11.) 認知症カフェ事業

(1) 事業概要

認知症の方やその家族、地域住民誰もが気軽に集い、楽しいひと時を過ごせるよう地域のボランティアの協力による「元気になるカフェ」を実施した。また、ボランティア(ささえ隊・もてなし隊)を対象とした交流会、認知症キッズサポーターを対象としたカフェお手伝い体験を実施し、カフェの充実を図った。さらに、認知症の方と家族が医療介護従事者や介護経験者と一緒にゆっくり過ごし、不安や心配事を語り合い理解し合える居場所「22カフェ」を実施した。

(2) 事業結果 ※ ()内の4:は4年度実績、3:は3年度実績

①デイサービスJAげんき喫茶室 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設

- ・実施回数 47回 (4: 47回、3: 28回)
- ・参加延人数 799人 (4: 507人、3: 286人)
- ・ボランティア延人数 172人 (4: 140人、3: 91人)

②よしおか ROBAROBA (地域福祉交流施設) 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設

- ・実施回数 47回 (4: 47回、3: 28回)
- ・参加延人数 933人 (4: 827人、3: 412人)
- ・ボランティア延人数 190人 (4: 185人、3: 112人)

③22カフェ 毎月22日 月1回 午後1時から3時まで開設

- ・実施回数 12回 (4: 12回、3: 9回)
- ・実施場所 よしおかROBAROBA
- ・参加延人数 41人 (4: 43人、3: 29人)
- ・協力者延人数 21人 (4: 18人、3: 12人)

④元気になるカフェボランティア交流会

- ・実施日 令和5年9月25日
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 13人

⑤夏休み！元気になるカフェお手伝い体験企画(小学5年生～中学3年生)

- ・実施回数 3回
- ・参加延人数 7人

⑥元気になるカフェ TEKUTEKU (移動カフェ)

- ・稼働回数 68回 (既存型【JAげんき】43回、主張型24回、貸出型1回)

【成果・課題】

移動カフェ車両 TEKUTEKUが導入され、地域に出向く移動型の元気になるカフェの運用が始まった。既存のカフェに参加するのが難しい方も参加でき、地域との繋がりや人と話す機会を増やすことが目的である。サロン会場等を回り地域の方に周知することができた。今後は認知症サポーターの協力を得てより積極的に地域に出向き、活用の機会や幅を増やしていくこと、貸出の促進が課題である。

	3年度	4年度	5年度
会費収入	245,417円	241,787円	315,046円
寄附金収入	99,000円	—	—
事業費	344,417円	241,787円	315,046円

12.) 傾聴サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者、高齢者世帯等の方で、話し相手を希望する方を対象に『聴く』ことで孤独や不安を軽減し充実した日常生活を過ごせるよう支援を行うことを目的に実施した。

(2) 事業結果

年度	利用人数	利用延回数
令和5年度	2人	14回

13.) 移送サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方で、通院や買い物等への交通手段がない方を対象に、積極的に外出する機会を確保し、閉じこもり等にならないように介護予防を行い、在宅生活の継続を目的に移送サービスを実施した。

(2) 事業結果

年度	登録人数	利用人数	利用延回数	利用券販売額
令和3年度	49人	33人	415回	0円
令和4年度	53人	29人	349回	0円
令和5年度	53人	24人	289回	0円

【感想・反省・課題】

移送利用登録者数は増える一方で、ボランティア数が減ってしまっているのが現状である。そのため、ボランティア募集チラシを作成し、団体の会議やイベント等にも足を運び間接的ではなく直接、募集の呼びかけをしていく。

	3年度	4年度	5年度
前期末支払資金残高	4,100円	0円	25,451円
移送サービス事業収入	124,500円	104,700円	86,700円
事業費	128,600円	78,829円	114,303円
うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)	124,500円(年間助成)	104,700円(年間助成)	86,700円(年間助成)

14.) 福祉車両貸出事業

(1) 事業概要

高齢又は障がい等により歩行が困難な方で車椅子を必要とする方に、リフト付自動車を貸出した。通院や買い物など日常生活の利便性を図ると共に、行事やレクレーション等に積極的に参加する機会を確保した。(利用料：1kmあたり10円)

(2) 事業結果

- ・貸出件数 67件(4年度：38件、3年度：53件)
- ・走行距離 2,242km

車両	貸出回数	走行距離	福祉車両貸出事業収入	3年度	4年度	5年度
ハイゼット	13回	528.0km	事業費	14,992円	11,449円	22,420円
アトレー	39回	1,277.0km		14,992円	11,449円	22,420円
シエンタ	15回	437.0km				

【気づいたこと、利用者からの要望等】

- ・新規の利用に加え、一時的に月2回を超えて通院が必要になった方の対応をしたため前年度に比べ貸出件数増加となった。
- ・利用者からは通院や帰宅の際に車両が使えると助かったという声をいただいている。

15.) 福祉機器及び器具備品等貸出事業

(1) 事業概要

福祉機器は、高齢者や身体に障がいのある方及び傷病のため自宅にて療養中の方へ貸出し、器具備品は、自治会及び自治会に属する団体や福祉団体又は地域活動やボランティア活動を目的とするグループへ貸出しを行った。

(2) 事業結果

- ・福祉機器 26件 (4年度：26件、3年度：15件)
- ・器具備品等 13件 (4年度：7件、3年度：2件)

	3年度	4年度	5年度
会費収入	0円	0円	4,430円
事業費	0円	0円	4,430円

16.) 生活福祉資金貸付事業

(1) 事業概要

県社会福祉協議会が行う貸付事業の申込窓口として、低所得世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯からの申込相談に対応した。相談者の経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図り、その世帯の安定した生活を確保することを目的とした。

(2) 事業結果

- ・相談延件数 (電話問合せ含む) 16件 (4年度：69件、3年度：156件)
- ・貸付件数 (令和6年3月31日現在)

総合支援資金	2 世帯	緊急小口資金	5 世帯
福祉資金	1 世帯	教育支援資金	3 世帯

【経過・感想】

- ・令和4年度と比べ、相談件数は大幅に減少した。申請件数は0件となり、新型コロナウイルス感染症の影響での相談、申請は無くなった。
- ・特例貸付の償還において猶予や非課税世帯であれば償還免除となり得るが、今後も生活困窮者自立相談支援事業と連携した対応をしていく必要がある。

	3年度	4年度	5年度
県社協受託金収入	636,000円	527,500円	3,369,000円
会費収入	0円	0円	0円
前年度繰越金	180,962円	55,575円	246,289円
事業費	761,387円	336,786円	3,529,970円

3. 日常生活自立支援事業サービス区分

1.) 日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

基幹社協として、認知症や知的障がい及び精神障がいなどで判断能力が不十分な方が、地域自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用、日常的金銭管理などの支援を行った。

(2) 事業結果

	新規契約件数	契約終了件数	契約件数	利用料助成対象者数
令和3年度	1人	2人	10人	6人
令和4年度	1人	1人	9人	7人
令和5年度	1人	1人	9人	7人

	3年度	4年度	5年度
県社協受託金収入	1,192,000円	1,163,000円	1,029,000円
県社協助成金収入	10,375円	13,750円	9,750円
町補助金収入	10,375円	13,750円	9,750円
利用者収入	36,850円	38,500円	27,300円
雑収入	3,960円	0円	0円
事業費	1,253,560円	1,229,000円	1,075,800円

4. 共同募金配分金事業サービス区分

1.) 一般募金事業（一般募金配分事業）

①新入学児童置き傘贈呈事業

(1) 事業概要

新入学児童に置き傘を贈呈した。

(2) 事業結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
明治小学校	117本（内5本予備）	114本（内5本予備）	97本（内5本予備）
駒寄小学校	153本（内5本予備）	141本（内5本予備）	130本（内5本予備）
社協予備	5本		

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	290,400円	269,280円	260,128円
事業費	290,400円	269,280円	260,128円

②学童クラブ図書事業

(1) 事業概要

学童クラブ7か所において、図書の充実を図った。

(2) 事業結果

子ども向け書籍の購入。

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	32,411円	33,193円	24,245円
事業費	32,411円	33,193円	24,245円

③避難訓練事業

(1) 事業概要

自治会で行われる避難訓練に合わせてボランティア協会の協力の下、炊き出し訓練を実施し、災害発生時に備えると共に防災倉庫内の防災用品の拡充を図り、いざという時に活用できるように、二つ折担架、毛布及び簡易トイレ等を自治会へ寄贈する。

(2) 事業結果

自治会からの要望はなかったため実績なし。

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	130,163円	99,880円	0円
事業費	130,163円	99,880円	0円

④無料法律相談事業

(1) 事業概要

昨今の社会情勢に伴い、町民が抱える悩みごと等において、法律に係る解決困難な相談が増加している現状を考慮し、町民の皆様が少しでも不安を解消し、安心して生活できるように弁護士による無料の法律相談所を開設した。

(2) 事業結果

- ・開設日 毎月第2木曜日（年12回）
- ・相談時間 午後1時30分～4時の間 1人30分
- ・相談員 群馬弁護士会所属の弁護士
- ・相談件数 45件（4年度：35件、3年度：47件）
- ・相談内訳（複数相談有り）

ア 家族について	13件	カ 事故について	3件		
イ 財産について	20件	キ 職業・生業について	4件		
ウ 住宅について	2件	ク 人権・法律について	1件		
エ 生計について	2件	ケ 老人福祉について	1件		
オ 離婚について	4件	コ その他	5件	合計	55件

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	368,390円	368,060円	371,910円
事業費	368,390円	368,060円	371,910円

2.) 歳末たすけあい募金配分金事業 (地域福祉関連)

①ふれあい・いきいきサロン推進事業

(1) 事業概要

地域の中で孤独・閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子、障がい者や弱者などを作らないという地域福祉の充実をはかるため、福祉ネットワークが主体となり住民が中心となって小地域を単位としたふれあいの場を設け、自主的・自発的に行う交流事業に活動費の助成、外出支援や交流会を行った。コロナ禍を経て令和4年度では、活動再開により参加者数が回復してきたが、令和5年度では、外出支援の利用が更に増加した。

(2) 事業結果

①運営・整備補助金交付

令和6年3月末現在 ・高齢者サロン 27会場 ・子育てサロン 1会場
 ・共生型(複合型)サロン 0会場 合計28会場

(補助金交付未申請会場: 高齢者サロン 3会場、子育てサロン 0会場、共生型(複合型)サロン 1会場)

②外出支援

・実施会場 12会場 (4年度: 10会場、3年度: 3会場)
 ・参加人数 180人 (4年度: 155人、3年度: 44人)

③ふれあい・いきいきサロン代表者交流会

・実施日 令和6年3月19日(火)
 ・会場 吉岡町老人福祉センター
 ・参加人数 23人(22サロン)
 ・内容 情報交換(交流会)、ヤクルト健康教室

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	568,308円	663,625円	696,458円
事業費	568,308円	663,625円	696,458円

②配食サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者に対し、月曜日から金曜日まで(週5回)食事サービスを実施することにより、食生活の安定と健康保持に寄与し、更に対象者の安否確認と地域社会との交流を深めることを目的に実施した。

(2) 利用対象者

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等で、安否確認が必要で調理が困難な者とする。

(3) 事業結果 (週5回実施)

年度	利用者数	実施日数	延べ食数	利用券販売額
令和3年度	55人	242日	6,903食	0円
令和4年度	67人	243日	8,903食	0円
令和5年度	59人	241日	7,940食	0円

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	1,205,627円	955,321円	1,145,277円
負担金収入	2,070,900円	2,457,000円	2,382,000円
事業費	3,276,527円	3,412,321円	3,527,277円

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)2,070,900円(R3.4.1~R4.3.31)

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)2,457,000円(R4.4.1~R5.3.31)

うち町高齢者弱者対策助成事業2,382,000円(R5.4.1~R6.3.31)

【運営課題等】

施設入所や亡くなった方が複数人おり、利用人数は前年度に比べ減少した。

ボランティアの減少、高齢化により社協の配食ボランティア及びボランティア協会の負担が増えているため、ボランティアと一緒に話し合いを行い負担軽減を図った。

社協の配食サービスはボランティアの力なくして運営は成り立たない。今後も、ボランティアの声を聴きながら負担が増えないよう対策を考えるとともに、ボランティア増員に力を入れたい。

③歳末時期事業

(1) 事業概要

福祉ネットワークの調査から上がってきた、ひとり暮らし高齢者、障がい者、及び高齢者二人世帯を対象とし、年末年始にボランティア協会の協力を得て、地域住民からの声かけと見守りにより、慰労と安否確認を行った。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和5年12月29日
- ・対象者数 79人 (4年度:59人、3年度:69人)
- ・内容 年越しセットの配食

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	157,816円	137,806円	159,521円
事業費	157,816円	137,806円	159,521円

- ・実施日 令和6年1月4日
- ・対象者数 72人 (4年度:55人、3年度:68人)
- ・内容 非常食セットの配布 (新年安否確認)

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	97,164円	97,689円	89,286円
事業費	97,164円	97,689円	89,286円

④歳末ささえ愛年越し食料配布事業

(1) 事業概要

物価高騰により家計への影響が大きいため生活に困り支援を必要としている世帯に、新たな年を迎える時期に安心して暮らすことが出来るために年越し食料を配布する。生活困窮者や社会的孤立の方に、食料の提供をつうじて支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができることを目的に実施した。

(2) 利用対象者

町内に居住し、生活にお困りで支援を必要としている世帯

(3) 事業結果

- ・配布期間 令和5年12月27日・28日・29日
- ・申請世帯 58世帯
- ・配布数 90セット

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	77,491円	71,748円	86,310円
事業費	77,491円	71,748円	86,310円

【感想・成果】

令和3年度新規事業として実施。令和5年度からコロナ禍の影響による支援から、物価高騰による家計への影響が大きい世帯と対象を変更した。

申請世帯、配布数ともに増加。特に子育て世帯、母子世帯、高齢者世帯からの申請が目立った。

⑤情報提供 (社協だより発行)

(1) 事業概要

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を目的に広報を発行した。

(2) 事業結果

- ・発行回数 3回
- ・発行部数 26,769部

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	502,000円	49,000円	26,208円
会費収入		464,687円	530,078円
事業費	502,000円	513,687円	556,286円

⑥家族介護者交流事業

(1) 事業概要

家庭で介護をしている介護者を対象に、同じ立場である介護者同士が集い、介護の悩みや心配ごとを話し合うことで、リフレッシュを図るための交流会を開催した。

(2) 事業結果

①DANDAN（男性介護者から話を伺う会）

- ・実施回数 3回
- ・実施日 令和5年6月8日、10月19日、2月29日
- ・会場 よしおかROBAROBA
- ・参加人数 15人

②栄養食品講座&交流会&自分でできるリラクセス法

- ・実施日 令和5年10月4日
- ・会場 老人福祉センター
- ・参加人数 8人

③お花見とランチ

- ・実施日 令和6年3月27日
- ・会場 前橋公園、群馬県庁(くろ松)
- ・参加人数 9人

	3年度	4年度	5年度
共同募金配分金収入	19,823円	41,904円	47,201円
負担金収入	3,000円	5,800円	6,700円
事業費	22,823円	47,704円	53,901円

【感想・目標】

令和5年度からDANDAN（男性介護者から話を伺う会）を開始。男性のみだからこそ言える意見や、普段なかなか人に言えない悩みや愚痴が出ており、DANDANは介護する男性にとって、ストレス発散やリフレッシュにつながる貴重な場であると感じた。

また、女性の介護者からももっと定期的に話ができる場が欲しいとの意見があり、介護者は「気軽に話ができる場」や「介護経験者の話を聞く機会」を強く求めていることがわかった。次年度は介護者の方が気軽に話ができる場を更に増やしていきたい。

5. 受託事業サービス区分

1.) 敬老福祉大会

(1) 事業概要

町内の高齢者を一堂に招待し、慰安激励すると共に、結婚50周年を迎えられたご夫婦に金婚祝を実施した。また、在宅で常時介護をしている介護者を表彰した。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和5年9月18日(月)「敬老の日」
- ・会場 吉岡町文化センター
- ・参加人数 表彰者・招待者 309人

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	501,653円	845,986円	835,523円
事業費	501,653円	845,986円	835,523円

2.) ひとり暮らし保養事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者を孤独感から解放し、当事者同士の交流を深め、お互い助け合って地域で生活できるよう支援することを目的とし、実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和5年7月21日(金)【日帰り】
- ・参加者数 88人
- ・内容 茨城方面/那珂湊市

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	0円	1,056,557円	592,544円
負担金収入	0円	640,000円	324,000円
事業費	0円	1,696,557円	916,544円

3.) 手話奉仕員養成研修事業（入門課程）

(1) 事業概要

聴覚障害者の生活、手話及び聴覚障害者についての基礎知識と、手話であいさつ、自己紹介程度の会話が可能な表現技術を習得した手話奉仕員を養成し、聴覚障害者の社会参加促進に役立てるため、厚生労働省の手話奉仕員養成講座(新)入門課程カリキュラムに基づき講座を開催した。

(2) 事業結果

- ・実施回数 23回
- ・修了者 7人

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	231,498円	331,461円	304,534円
事業費	231,498円	331,461円	304,534円

4.) 障がい者のつどい事業

(1) 事業概要

町内に在住する障がいのある方もない方もが、一緒になって音楽やアートを通じて交流を図ることを目的として、「新春コンサート」及び「みんなのアート展」を実施した。

(2) 事業結果

①新春コンサート2024 ～音楽っていいな～

- ・実施日 令和6年1月14日
- ・会場 吉岡町文化センターホール
- ・出演団体 4団体
- ・協力団体 5事業所
- ・参加人数 494人

②みんなのアート展

- ・実施日 令和6年1月23日～2月4日
- ・会場 吉岡町文化センター2階ギャラリー
- ・協力団体 町内障害者の施設や事業所等・町内小中学校 17ヶ所
- ・作品数 約230点
- ・来場者数 392人

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	0円	34,000円	247,145円
会費収入	0円	17,100円	0円
事業費	0円	51,100円	247,145円

5.) 介護予防・日常生活支援総合事業

①一般介護予防事業

(1) 事業概要

65歳以上の方及びその支援のための活動に係わる方を対象に、介護状態にならないように、また、介護状態になった場合でも、それ以上に悪化させないための介護予防事業を実施した。

(2) 事業結果

①介護予防・普及啓発事業

「社協だより」「社協ホームページ」に事業の開催について掲載した。また、各種福祉団体等にも介護予防事業の普及啓発を行った。

◎老人福祉センターにおける介護予防教室

町内の65歳以上の全ての方を対象とし、専門職種（健康運動指導士）による運動教室を継続的に開催し、日常生活の安定と健康維持、高齢者同士の交流活動を目的に実施した。

※コロナ禍を考慮し、密を避けるため、人数制限を設けたり、2部制にしたり、感染対策を行った。

	はつらつ体操	げんきアップ体操	ニコニコ体操
実施回数	25回 4(24回) 3(24回)	25回 4(24回) 3(24回)	1回 4(1回) —
参加延人数	726人 4(539人) 3(519人)	313人 4(255人) 3(254人)	20人 4(20人) —

※（ ）協の4は、4年度実績、3は、3年度実績

◎町民対象とした介護予防事業

介護予防教室「びんびんげんき教室」

- ・実施日 令和5年10月16日(月)、23日(月)、30日(月)、11月6日(月)、13日(月)、20日(月)
- ・会場 老人福祉センター
- ・参加人数 各20人前後
- ・内容 体力測定・簡単筋力トレ、お口のチェック体操、栄養、認知症予防

②地域介護予防活動支援事業

◎地域筋力トレーニング（※鬼石モデル筋力トレーニング実施）

町内 16ヶ所

◎社協職員による介護予防 出前講座

- ・実施回数 10回
- ・参加延人数 150人

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	265,932円	273,050円	248,850円
事業費	265,932円	273,050円	248,850円

6.) 地域支援事業・包括的支援・任意事業

①生活支援体制整備事業

(1) 事業概要

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、地域における支え合いの体制づくりを目的としている。その核となる自分たちの地域の高齢福祉を考える場である第2層協議体【わたげ隊(明治)】と【ふれあい隊(駒寄)】において、子どもから大人まで地域を超えた交流ができる新しい居場所、『たんぼぼ広場』と『駒ちゃん家』を開設し、地域課題の整理及び地域資源の開発に向け話し合いを実施した。

(2) 事業結果

・協議体活動

① 会議

わたげ隊 (明治地区協議体) メンバー 12人 開催回数 10回

ふれあい隊(駒寄地区協議体) メンバー 10人 開催回数 11回

② 新しい居場所

たんぼぼ広場(わたげ隊)

開催日 毎月第2・4水曜日 10時～12時 北下東部住民センター

開催回数 4回 延参加人数 106人(内子ども18人)

駒ちゃん家(ふれあい隊)

開催日 毎月第2土曜日 10時～12時 大久保寺上上中町集落センター

開催回数 4回 延参加人数 113人(内子ども13人)

③ 研修

大泉町 いこいの家“庵”視察 参加者14人

地域支え合い活動推進セミナー「地域の支え合い活動による移動支援」 参加者 3人

④ アンケート

よしおかふるさと祭り あなたの声聴かせてくださいアンケート実施 59人

・啓発活動

① 広報誌『わたげ通信』(明治) 第2号 『ふれあい通信』(駒寄) 第2号 毎戸配布

② 社協だより掲載「生活支援コーディネーターのつぶやき」 7月号、11月号、2月号

③ 社会福祉協議会 インスタグラム投稿

④ 10月8日(日) ふるさと祭りSDGsとエコ生活ブースの設置及びアンケート調査

・生活支援コーディネーター関係

① 設置人数 社会福祉協議会 2名

② 第1回 吉岡町協議体連絡会議 7名

③ 生活支援コーディネーター中部ブロック情報交換会・幹事会 6回

④ 地域ケア会議参加 2回

⑤ その他

地域ケア会議 2回、研修参加 3回、視察受入 1回、事例発表 1回

【感想・目標】

新しい居場所が各地区で発足し、運営方法・担い手の確保など課題もみつかるとともに、新しい居場所の継続・発展はもとより、協議体の目的である地域課題の整理及び地域資源の開発の話合いの部分で速のいてしまっている現況もあるため、協議体と居場所の在り方について確立していく。また、吉岡町全体の高齢福祉を考える場であり第2層協議体の後方支援機能をもつ第1層協議体の設置に向け引き続き町と協議していく。

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	638,171円	981,780円	928,076円
事業費	638,171円	981,780円	928,076円

②認知症サポーター養成講座

(1) 事業概要

認知症についての正しい知識を学び、地域で認知症の人を見守ることで、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていける地域づくりを目指すことを目的に地域住民や小学校4年生等を対象に講座・啓発を実施した。

(2) 事業結果

・養成講座

実施回数 4回 (4年度：2回、3年度：5回)

参加延人数 377人 (4年度：229人、3年度：369人)

・ステッカー配布 個人：11人 企業：0社

【感想・反省等】

令和4年度に引き続き、一般町民向けの講座を吉岡町文化センターホールで開催し、多くの方に受講していただくことができた。今後も地域に認知症の理解者、地域での見守り等の協力者を増やし、地域支援体制の強化に繋げたい。

一般町民、明小4年生、駒小4.5年生、下野田合同サロン

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	102,555円	138,893円	174,621円
寄附金収入	20,000円	20,000円	20,000円
事業費	122,555円	158,893円	194,621円

7.) 地域福祉交流施設（よしおかROBAROBA）管理事業

(1) 事業概要

地域住民の交流の促進及び福祉の増進を図るため設置された施設の貸館の受付及び維持管理（清掃）業務を行った。

(2) 利用状況 ※ () 脇の3は3年度実績, 4は4年度実績

	回数	人数
元気になるカフェ	48回	1,123人
22カフェ	12回	89人
ハートボラカフェ	12回	221人
学習支援	48回	464人
ロバロバ講義	8回	69人
町託型学習支援の初回面談	3回	19人
認知症本人ミーティング	1回	10人
家族介護者交流事業	3回	22人
柳の樹吉岡ハウジング事前準備	1回	4人
柳の樹吉岡ハウジングイベント	1回	81人
計	137回 4(131回) 3(77回)	2,102人 4(1,755人) 3(909人)

	3年度	4年度
町受託金収入	112,864円	137,589円
事業費	112,864円	137,589円
	5年度	
町受託金収入	141,219円	
事業費	141,219円	

8.) ボランティアセンター事業

(1) 事業概要

地域共生社会の実現に向け、町民に分かりやすく情報を発信し、誰もが役割や生き甲斐、尊厳をもって活躍できる場とし、相談や受付、マッチング等を行う。地域福祉活動参加へのきっかけづくりに新たなボランティア活動の発掘、人材確保や担い手育成等の継続を促し、主体的・自主的に地域や社会のために活動できるボランティア支援を進める。ボランティア活動の周知と理解を深めるための講座や講習、交流会や体験事業の開催を行っていく。ボランティア活動が一層活発に展開され、ボランティアが自分らしくいきいきと楽しみながら活躍できるよう、ボランティアポイント事業を通じて高齢者施策の推進やボランティア団体の支援、全世代参加型の地域づくりをねらいとし、ボランティア活動の魅力を伝え、さらなるボランティア充実を図っていく。

(2) 実施結果

①ボランティアセンター登録状況

- ・町内ボランティア団体 18団体 延人数 577人
- ・個人ボランティア

事業名	延登録者数	事業名	延登録者数
移送	14人	元気になるカフェ	50人
配食	18人	22カフェ	4人
火・水・金配食運転	6人	サロン関係	5人
傾聴	11人	子ども(18歳未満)	2人
その他災害等	4人	大学生	1人
合計		合計	115人

②ボランティア活動保険加入状況

・加入者数 527人

③ハートボラカフェ(ボランティアのためのカフェ) 毎月第2水曜日

・参加延人数 201人

④ボランティア感謝祭

・実施日 令和5年5月31日
 ・会場 吉岡町老人福祉センター
 ・参加延人数 27人
 ・内容 ア 表彰式
 イ 講座
 ・令和4年度ボランティアポイント制度利用者数 183人
 ・表彰者数 95人

⑤傾聴ボランティア派遣事業交流会

・実施日 令和5年6月29日
 ・参加者 12人

⑥ボランティア体験講座

・参加延人数 8人
 ・開催回数 5回

⑦ボランティア交流会

・実施日 令和5年11月27日
 ・参加者 39人

⑧ボランティア入門講座

・実施日 令和6年3月4日
 ・参加者 12人
 ・活動紹介者 2人

⑨ボランティアポイント事業

・ボランティアポイント登録者加入状況

年齢区分	登録区分	登録者数(人)
子どもボランティア	お守り	191
	カード(再発行者)	1
成人ボランティア	アプリ	236
	カード	152
合計		580

・ボランティアポイント付与済者の状況

ポイント区分	交換区分	年齢区分	交換ポイント数累計(P)	
			ポイント付与人数	交付金・景品交換金額
1,000P~4,000P ※千ポイント未満切捨て	QUOカード	子ども	153人	165,000P
		成人	289人	443,000P
4,100P~8,000P	交付金	成人	54人	347,700P
合計			496人	955,700P

・吉岡中学校ボランティアポイント登録支援臨時窓口

・実施日 令和5年5月16日~5月18日の3日間

・ボランティアポイント専用アプリ支援会

・実施日 令和5年6月10日、6月14日、6月21日、6月24日、の4日間

	3年度	4年度	5年度
事業費	343,868円	743,664円	2,220,741円

9.) 精神保健傾聴事業：心の休憩所～tsubomi～

(1) 事業概要

不登校やひきこもりのため、心に不安を抱え、学校や社会、外へ出ていくことが困難な当事者とその家族に対して、不登校・ひきこもりサポートコーディネーターによる傾聴セラピーの場を設け、抱える不安に寄り添いながら不安軽減を図り、ひとりひとりの安心できる外の世界、集いの場となることを目的とする。

(2) 事業結果

○傾聴セラピー相談延件数 10件 (内訳:当事者10人 家族1人)

○つどいの会

- ・内容 親子の信頼関係づくり講座、つどいの会
- ・実施日 令和6年3月30日(土)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 2人

	4年度	5年度
町受託金収入	66,883円	65,366円
事業費	66,883円	65,366円

6. 善意銀行貸付事業サービス区分

(1) 事業概要

低所得世帯の一時的な生活費や医療費等の生活資金の支出困難者に対して、必要な資金の貸付けを行い、低所得世帯の更生と福祉の増進を図ることを目的とし、事業を実施した。

(2) 事業結果

- ・貸付 0件 (前年度実績:0件) 0円
- ・援護費 行旅人 1件 (前年度実績:0件) 500円

7. 退職手当積立金事業サービス区分

(1) 事業概要

全国社会福祉団体職員退職手当基金制度に退職積立金を行う。

(2) 事業結果

- ・加入職員数 : 14人
- ・掛金合計 : 49,676,490円 (令和6年3月31日現在)

8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分

(1) 事業概要

平成18年4月から町の指定管理を受け、地域の高齢者の健康の増進、教養の向上及び高齢者の外出場所の確保や閉じこもり生活からの解放、高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいづくりを目的として、行こういこいの家八幡(自主事業)を実施した。

(2) 事業結果

・年間利用状況

年度	年間利用者数	年間開所日数	一日平均	利用料	備考
令和3年度	12,458人 (7,404人)	268日 (245日)	46.4人 (30.2人)	2,600円	年間
令和4年度	13,856人 (7,329人)	277日 (224日)	50.0人 (32.7人)	8,800円	年間
令和5年度	15,113人 (7,685人)	280日 (245日)	53.9人 (31.3人)	6,600円	年間

()内は入浴利用者数

①行こう！いこいの家八幡（自主事業）

高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいづくりとなることを目的として講演、教室、趣味の会を実施した。

・お話しの会

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎月第3木曜日11:00～	わらべの会による読み聞かせ	12回	66人

・自主事業

実施日時	内容	参加人数
7月19日(水)11:00～	カフェ&タオル体操	21人
8月8日(火)11:00～	熱中症対策講座	11人
9月27日(水)11:00～	ポッチャ体験講座	10人
12月12日(火)10:00～	ポッチャ体験	8人
12月20日(水)10:30～	クリスマスイベント	センター来場者
12月21日(木)10:30～		
R62月2日(金)10:30～	節分(鬼的的当て)	センター来場者
3月5日(火)10:00～	ひな祭りイベント	センター来場者

・趣味の会 14ヶ所

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎週木曜日 10:00～11:30	つるし飾り作り	30回	183人
10月まで第1金曜日 11月～3月第1・3金曜日 13:30～15:30	編み物	15回	89人
毎月第2・4木曜日 13:30～15:30	かんたん絵画	20回	189人
毎月第1・3火曜日 10:00～11:30	フラダンス	19回	172人
毎月第1・3土曜日 10:00～12:00	踊り	22回	120人
毎月第1水曜日 10:00～11:30	茶道	12回	149人
第2・4水曜日 13:30～	大正琴	14回	69人
毎週金曜日 9:30～10:30	鬼石式筋トレ	45回	331人
毎日 14:00～	ラジオ体操	245回	1,687人

	3年度	4年度	5年度
前期末支払資金残高	2,149,627円	1,756,792円	2,733,721円
町受託金収入	21,330,000円	20,428,000円	20,918,000円
利用料等収入	306,767円	285,472円	299,772円
事業費	22,029,602円	19,736,543円	21,971,899円

【現状・反省・今後の意向】

本年度の状況を踏まえ考えると、令和5年5月にコロナウィルスの位置づけが下がったのに合わせて、イベント等を増やし行った結果、年間を通しての利用者数は増えている。だが、今まで利用をしてくださっていた利用者が体調不良や高齢化を理由に利用ができなくなってしまったため、お風呂や送迎サービスのPRを含め、チラシをリニューアルし、再度地域住民に周知をして新規利用者を増やしていきたい。

9. 学童クラブ管理事業サービス区分

1.) 学童クラブ指定管理事業

(1) 事業概要

平成23年4月以降、町から指定管理を受け、学童クラブ6箇所の運営管理を子ども子育て支援新制度を遵守し、放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定に努め、保護者が安心して預けられる環境整備を行い、家庭と学校との連携を図りつつ保護者の意見が反映されるよう運営に努めた。

(2) 事業結果(令和5年4月～令和6年3月)

※()協の4は4年度実績、3は3年度実績

明治小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
明治学童クラブ (定員70人) ※1	71人	0人	234日	6,032人	26人
			4(234日)	4(5,005人)	4(18人)
			3(292日)	3(7,652人)	3(26人)
明治第2学童クラブ 榛名 (定員80人) ※1	68人	0人	225日	5,812人	26人
			4(233日)	4(4,411人)	4(19人)
			3(240日)	3(7,014人)	3(29人)
【旧明治第2学童 定員15人】			243日	6,450人	27人
			4(241日)	4(6,342人)	4(26人)
			3(240日)	3(3,441人)	3(14人)
明治第2学童クラブ 赤城 (定員80人) ※1	70人	0人	239日	4,639人	19人
			4(238日)	4(6,054人)	4(25人)
			286日	5,919人	21人
【旧中央学童 定員60人】			4(288日)	4(6,347人)	4(22人)
			3(238日)	3(5,722人)	3(24人)
			240日	6,371人	27人
合計	209人 4(202人)	0人 4(0人)	4(240日)	4(6,245人)	4(26人)
			3(235日)	3(5,839人)	3(24人)
			1,467日	35,223人	145人
			4(34,404人)		

駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第1学童クラブ (定員85人) ※1	86人	1人	287日	7,839人	27人
			4(254日)	4(7,443人)	4(29人)
			3(254日)	3(7,206人)	3(28人)
駒寄第2学童クラブ (定員85人) ※1	86人	0人	238日	7,223人	30人
			4(228日)	4(6,295人)	4(28人)
			3(224日)	3(6,183人)	3(27人)
駒寄第3学童クラブ (定員105人) ※1	104人	1人	249日	9,276人	37人
			4(241日)	4(7,945人)	4(33人)
			3(229日)	3(7,691人)	3(33人)
合計	276人 4(247人)	2人 4(2人)	208日	7,189人	35人
			4(204日)	4(6,209人)	4(30人)
			3(200日)	3(6,891人)	3(34人)
			254日	9,211人	36人
			4(254日)	4(7,306人)	4(29人)
			3(254日)	3(7,535人)	3(29人)
			230日	8,391人	36人
			4(292日)	4(6,486人)	4(27人)
			3(233日)	3(6,333人)	3(27人)
			1,466日	49,129人	202人
			4(41,684人)		

※1(支援単位) 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により1支援単位を構成する児童の数(集団の規模)は、概ね40人以下となっているため2班に班別し、上・下段で表記。

注:平成27年度から子ども子育て支援新制度により定員基準が概ね40人となった。それ以前は70人。

○ 待機児童は、駒寄小学校区で2年生1人、4年生1人、令和5年5月以降は0人。

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	21,736,170円	23,354,592円	20,502,315円
学童保育料収入	33,118,000円	37,044,500円	40,595,500円
事業費	54,854,170円	60,399,092円	61,097,815円

2.) 学童クラブ運営補助事業

(1) 事業概要

待機児童対策として令和3年4月に新規に駒寄第4学童クラブ(15人定員)を業務委託にて開設した。

(2) 事業結果(令和5年4月～令和6年3月) ※ () 脇の4は、4年度実績、3は、3年度実績

駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第4学童クラブ (定員20人)	35人	0人	243日	6,387人	26人
	4(30人)	4(0人)	4(240日)	4(5,280人)	4(22人)
			3(242日)	3(3,771人)	3(16人)
			3年度	4年度	5年度
町補助金収入			5,142,225円	4,251,973円	3,880,622円
学童保育料収入			1,725,000円	2,548,500円	3,094,500円
事業費			6,867,225円	6,800,473円	6,975,122円

I. 社会福祉事業 ii. 介護保険事業拠点区分

1. 介護保険事業サービス区分

1.) 居宅介護サービス

(1) 事業概要

ホームヘルパーが障がいのある方の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス。

(2) 事業結果

障がい者 訪問介護集計表

年度	人数	訪問回数	利用時間	居宅介護給付費
令和3年度	7人	945回	975.5h	1,974,670円
令和4年度	8人	1,063回	1,089.0h	2,280,980円
令和5年度	8人	1,052回	1,103.5h	2,314,490円

2.) 訪問介護事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが利用者の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、介護保険法に基づくサービス。

(2) 事業結果

訪問介護集計表

年度	人数	介護総時間	身体介護	生活援助	身体生活	報酬総額
令和3年度	497人	4,835.75h	803.00h	2,486.75h	1,546.00h	15,426,367円
令和4年度	466人	4,063.25h	559.50h	2,461.25h	1,042.50h	12,675,417円
令和5年度	419人	3,719.25h	564.00h	2,307.75h	847.50h	11,822,800円

介護予防・日常生活支援総合事業集計表

年度	人数	訪問時間	報酬総額
令和3年度	225人	1,291.00h	4,265,742円
令和4年度	236人	1,277.00h	4,277,260円
令和5年度	240人	1,255.00h	4,297,703円

3.) 吉岡町移動支援事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが居宅に訪問し、屋外での移動に困難がある障がい者に対して、外出のための支援を行う、吉岡町が実施主体の事業。

(2) 事業結果

移動支援事業集計表

年度	人数	訪問時間	町負担額
令和3年度	2人	32.5h	125,500円
令和4年度	1人	20.5h	59,800円
令和5年度	2人	28.0h	69,100円

【感想・反省】

・訪問介護報酬は、数年前から利用者数と訪問時間数の減少により減収傾向にある。令和2年度からはコロナウィルス感染症の影響により更に収入が落ち込んだ。令和5年度も利用者数、訪問時間数を増やすことができなかった。介護度が高い人の減少が著しかった。引き続き営業努力を行い利用者数を増やし、ヘルパーの人材確保と質の向上に努め、良質なサービスの提供に努めたい。

	3年度	4年度	5年度
前期末資金残高	229,603円	1,163,781円	888,735円
事業活動による収入	21,792,279円	19,293,457円	18,504,093円
積立資産取崩収入	0円	650,000円	2,390,000円
補助金収入	0円	0円	118,000円
総事業費	20,858,101円	20,218,503円	20,754,317円

II. 公益事業 i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点区分

1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 事業概要

平成28年、県社協からの委託事業として、県内8町村社協に相談支援員が配置された。

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施やその他の支援を実施した。また、失業等に伴う収入の減少による住居確保給付金の制度利用の相談・申請窓口となった。

(2) 事業結果

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	213	127	187
支援件数	123	88	199
申込件数	68	16	14
支援調整会議	3	0	7
ケース会議	0	0	0
プラン策定	0	10	13
継続支援	10	16	6

【気づいたこと等】

相談者本人からの相談よりも、関係機関からの相談や紹介により本人とつながったケースが以前と比べて増えたと感じる。

住居確保給付金の問い合わせや申請もコロナ以前よりも多くなり、給付を受けながら求職活動をし、増収につながった方もおり、制度の必要性を再認識した。

◎住居確保給付金申請

- ・相談対応件数 57件（前年度：92件）
- ・給付申請者数 3件（前年度：6件）
- ・給付金額 325,900円（前年度：1,565,200円）

	3年度	4年度	5年度
県社協受託金収入	4,866,375円	4,551,000円	4,551,000円
事業費	4,866,375円	4,551,000円	4,551,000円

II. 公益事業 ii. 成年後見制度事業拠点区分

1. 成年後見制度事業サービス区分

(1) 事業概要

認知症、知的障害、その他の精神上の障害により、物事を判断する能力が不十分な人の権利を守り、安心して暮らしていけるよう、関係機関との連携を強化し、成年後見制度の利用を促進し、町民の権利支援をすることを目的とし、町から委託され設置している。

中核機関として「相談支援事業」、「普及啓発事業」、「利用促進事業」、「関係機関との連携」、「後見人等支援事業」を行う。

(2) 事業結果

①相談支援事業

・相談延件数 140件 (うち初回相談22件) R4:65件 (うち初回相談11件)

相談内容延件数 0は初回相談 (重複あり)

相談内容	法定後見	任意後見	身元保証	相談・遺言	※その他	計
R 4年度	52件 (9件)	2件 (1件)	26件 (2件)	7件 (1件)	11件 (3件)	98件 (16件)
R 5年度	121件 (20件)	17件 (4件)	3件 (0件)	15件 (3件)	29件 (2件)	185件 (29件)

※その他・・・日常生活自立支援事業やNPO法人等による金銭管理事業

- ・個別ケース会議 1回 (3ケース)
- ・相談支援機関主催のケース会議への参加 3回

②普及啓発事業

- ・『落語で学ぼう成年後見制度』 参加者数 62人
- ・『任意後見と遺言』 参加者数 24人

③利用促進事業

- ・申立て手続き支援件数 0件
- ・町長申立てにつないだ件数 3件 (高齢者)

④関係機関との連携

- ・吉岡町成年後見制度利用促進・連携協議会 開催回数 2回

⑤法人後見の研修

- ・法人後見専門員養成研修会 受講日数 3日 (1名)
- ・館林市社会福祉協議会へ研修視察

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	74,783円	135,498円	296,876円
県社協受託金収入	0円	0円	30,900円
事業費	74,783円	135,498円	327,776円

Ⅱ. 公益事業 iii. 地域包括支援センター事業拠点区分

1. 地域包括支援センター事業サービス区分

(1) 事業概要

高齢者の心身の健康の維持及び生活の安定の為に必要な支援を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、町から委託され設置している。医療・福祉の専門職がチームで業務を行っている。

(2) 事業結果 ※ ()は、前年度実績

①総合相談支援業務

・新規相談件数	174件 (159件)
・総合相談延件数	3,217件 (2,606件)
・実態把握訪問件数	82件 (40件)

他のすべての業務の入り口であり、地域包括支援センター事業実施のための基盤的役割を果たすものである。家族介護者交流事業の一環として実施した「DANDAN」（男性介護者の会）もこの業務を通しての気づきからR5年度に事業化に繋がったものであり、昨今の介護ニーズや課題を反映することができた。また、支援を必要とする人の発見や地域課題・ニーズ把握のために実施する実態把握については、昨年度に比べその件数を大幅に増やすことができ、地域包括支援センターの役割の周知にも繋がった。

②権利擁護業務

・高齢者虐待相談件数	2件 (2件)
・成年後見相談件数	20件 (18件)
・消費者被害相談件数	6件 (7件)

人権・権利擁護を目的として積極的介入支援をおこない、自己決定に基づく契約が十分にできない人の権利をまもることである。成年後見相談件数は昨年度とほぼ同数であり、社協内に設置されている「成年後見支援センター」へ繋ぎ連携をとりながら相談対応を行っている。また、高齢者虐待相談件数は2件あり、虐待と判断された。町や関係機関とも連携した支援、虐待止担当者会議は書面開催とし、高齢者虐待及び消費者被害防止の周知に力を入れた。

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

・ケアマネ支援件数	200件 (178件)
・ケアマネ情報交換会	2回 (1回)
・ケアマネcaféよしおか（町内／町内外居宅介護支援事業所）	1回 (2回)
・地域ケア会議(自立)	1回 (2回)
・地域ケア会議(個別)	5回 (4回)
・地域ケア会議(地域課題を考える)	1回 (1回)
・社会福祉協議会 地域包括支援センター情報交換会	2回 (2回)

介護保険制度の理念である自立支援・利用者本人本位・法令遵守し、介護支援計画書作成に必要な知識と技術を向上させ、生活課題を有する方々が必要な社会資源と結びつくよう関係機関と連携した。ケアマネジャー同士の情報交換や横のつながりづくりを支援するため、町内居宅ケアマネジャーとの集いと町内・外近隣居宅のケアマネジャー同士が自由に参加できるカフェを開催した。

④在宅医療介護連携推進事業

・渋川地区在宅医療介護連携支援センター会議	13回 (15回)
・渋川地区在宅医療介護連携支援センター講演会等協力	10回 (10回)

渋川地区在宅医療介護連携支援センターと協同し、渋川地区（渋川市・榛東村・吉岡町）の医療と介護連携に努め、地域包括ケアシステムの構築を目指す。月1回の調整会議に参加し、情報を共有し、講演会等の開催協力や周知活動を行っている。

⑤認知症総合支援事業

- ・認知症初期集中支援チーム支援件数 1件 (1件)

認知症初期集中支援チームは、認知症で困っている方やその家族に対し支援を行う。認知症地域支援推進員は、認知症になっても住みやすい地域を作る支援を行うために認知症カフェの運営協力、カフェを運営しているサポーターの交流を社協の認知症地域支援推進員とともにに行った。また、認知症の本人が集い、自分たちの気持ちや体験を語り合う場所「本人ミーティング」を医療機関や役場認知症施策担当者と連携し開催した。9月のアルツハイマー月間には認知症に関する吉岡町内の取り組みをまとめた掲示を老人福祉センターと地域福祉交流拠点ROBAROBAで行った。包括職員が訪問や相談対応での気づきを社協と共有し事業を進めた。

⑥介護予防支援業務

- ・要支援者延人数 2,488人 (2,301人)
- ・プラン作成延件数 1,126件 (1,031件)
- (内、委託件数) 601件 (488件)

要支援1・2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるようなケアプランの作成やサービス事業所との連絡・調整等を行う。プラン作成延件数は昨年度より9%増加し、委託割合は53.4%(前年比6.1%増)委託件数は月平均で10件増加した。

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	19,546,412円	18,606,962円	20,763,875円
介護報酬収入	4,116,570円	4,704,780円	5,167,020円
事業費	23,662,982円	23,311,742円	25,930,895円

⑦地域支援事業(介護予防ケアマネジメント)

- ・事業対象者延人数 97人 (100人)
- ・プラン等作成延件数 557件 (524件)
- (内、委託件数) 220件 (162件)

「総合事業」における「介護予防・生活支援サービス事業」の中に位置づけられており、要支援者・事業対象者に対して適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行う。プラン作成延件数は昨年度より6%増加し、委託割合は39.7%(前年比8.8%増)委託件数は月平均で4件増加した。

【総合的見解】

個別の相談などから地域の課題を把握していくことに努め「男性介護者の会」や「本人ミーティング」を開催することができた。今後も地域とのつながりを強化し、様々な問題点に気づき対応できるようにする。

	3年度	4年度	5年度
町受託金収入	4,495,285円	4,794,432円	5,322,528円
介護報酬収入	2,226,240円	2,421,120円	2,572,560円
事業費	6,721,525円	7,215,552円	7,895,088円

その他の事業

1. 群馬県共同募金会・吉岡町共同募金委員会業務

1.) 一般募金（赤い羽根共同募金）

10月20日から町内全世帯に自治会を通してチラシ等を配布し、募金趣旨の啓発、募金の協力を呼びかけた。

年度	戸別募金			学校・イベント募金	合計	
	協力世帯数	募金額	納入率		募金額	前年度比
令和3年度	5,807世帯	2,322,800円	68.9%	83,394円	2,406,194円	97.5%
令和4年度	6,004世帯	2,401,600円	69.2%	82,823円	2,484,423円	103.3%
令和5年度	5,961世帯	2,384,400円	67.3%	73,991円	2,458,391円	99.0%

2.) 歳末たすけあい募金

10月20日から町内全世帯（生活保護及び施設入居者は除く）に自治会を通じて募金用途チラシ等を配布し、募金趣旨の啓発と募金の協力を呼びかけた。又、町内法人には高崎法人会吉岡地区会並びに、吉岡町商工会等を通じて募金趣旨を啓発、募金の協力を呼びかけ、更に民生児童委員・社協役職員による訪問を行い募金活動を実施した。

年度	戸別募金			法人募金		
	協力世帯数	募金額	納入率	協力法人数	募金額	前年度比
令和3年度	5,815世帯	1,744,500円	69.0%	272法人	1,382,235円	101.7%
令和4年度	6,019世帯	1,805,700円	69.3%	270法人	1,403,200円	101.5%
令和5年度	5,972世帯	1,791,600円	67.4%	271法人	1,539,656円	109.7%

年度	団体募金		個人募金・その他		合計	
	協力法人数	募金額	協力者数	募金額	募金額	前年度比
令和3年度	1団体	30,000円	3人	19,057円	3,175,792円	99.5%
令和4年度	1団体	30,000円	4人	91,000円	3,329,900円	105.0%
令和5年度	1団体	30,000円	4人	17,859円	3,379,115円	101.0%

3.) 吉岡町共同募金委員会（H24. 8. 17 設立）

(1) 事業概要

県共募の定める諸計画に基づき、町内の地域福祉向上の推進のため、住民の参加を図り民意を十分に反映し共同募金運動を行うことを目的に設置する。

(2) 吉岡町共同募金委員会開催状況

開催年月日	議 題
5. 5. 24	令和5年度 共同募金地域配分基準及び特別配分基準の制定について 令和5年度 吉岡町共同募金委員会共同募金推進計画について
5. 9. 21	令和5年度 共同募金運動実施について
6. 3. 8	令和5年度 共同募金（6年度事業）配分申請書の審査について 令和5年度 吉岡町共同募金委員会共同募金推進計画の変更について

2. 吉岡町民生委員児童委員協議会

平成27年4月、町から事務局が移管された。民生委員児童委員協議会の主な活動状況は以下のとおりだった。

- ・毎月1回 役員会、定例会開催。
- ・子育てサロンよしおか 12回 参加延人数：保護者316人・子357人
- ・視察研修 令和5年6月20日/安曇野ちひろ美術館、12月5日～6日/山梨県笛吹市石和民児協
- ・各種研修会に参加

3. 各種福祉団体支援

団体支援の説明を記載

団体名	会員数	支援内容	補助金額
更生保護女性会	76人	社会を明るくする大会への協力支援	8,826円
老人クラブ連合会	418人	総会、県・会主催事業（ケガレドコロ大会、輪投げ大会）への協力支援	181,344円
ボランティア協会	106人	総会、会主催事業（環境美化等）、給食への協力支援、縫製活動の協力	220,000円
身体障がい者自立更生会	19人	総会、会主催事業（輪投げ大会、室内ケガレドコロ大会、絵手紙教室等）への協力支援	0円
知的障がい児（者）親の会	6人	会議開催等への協力支援	0円
遺族会	85人	総会、護国神社（みたま祭・例大祭）、研修旅行、県戦没者追悼式への協力支援	114,000円

会計の区分一覧（経理規程第7条第4項）

当法人が設定する事業区分、拠点区分、サービス区分は下記のとおりとする。

事業区分 (大分類)	拠点区分 (中分類)	サービス区分 (小分類)
I. 社会福祉事業 P1～P21	i. 地域福祉事業拠点 P1～P20	1. 法人運営事業サービス区分 P1～P2
		2. 地域福祉事業サービス区分 P3～P8
		3. 日常生活自立支援事業サービス区分 P8
		4. 共同募金配分金事業サービス区分 P9～P12
		5. 受託事業サービス区分 P12～P17
		6. 善意銀行貸付事業サービス区分 P17
		7. 退職手当積立金事業サービス区分 P17
		8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分 P17～P18
		9. 学童クラブ管理事業サービス区分 P19～P20
		ii. 介護保険事業拠点 P20～P21
II. 公益事業 P21～P24	i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点 P21	1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分 P21
	ii. 成年後見制度事業拠点 P22	1. 成年後見制度事業サービス区分 P22
	iii. 地域包括支援センター事業拠点 P23～P24	1. 地域包括支援センター事業サービス区分 P23～P24
その他の事業 P25		1. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務 P25
		2. 吉岡町民生委員児童委員協議会 P25
		3. 各種福祉団体支援 P25